

## 令和2年度徳島県南部地域政策総合会議 計画推進評価部会報告

## 1 開催日時

令和2年7月21日(火)午前10時から午前11時55分

## 2 場所

南部総合県民局 美波庁舎 大会議室

## 3 出席者

(1)委員 6名出席

委員 小林委員(副部会長), 橋本委員, 濱崎委員, 町田委員  
専門委員 石田部会長, 市瀬委員

(2)県関係

木具局長, 新居副局長, 木下地域創生防災部長, 村上保健福祉環境部長  
吉田農林水産部長, 正木県土整備部長, 今津政策調査幹 他

(3)市町関係

阿南市・岡田企画政策課長, 那賀町・葛木総務課長,  
牟岐町・宮内総務課長, 海陽町・中野まち・みらい課長

## 4 議題

令和元年度南部圏域課題解決プラン実施結果の評価について

## 5 評価結果について

・24のプランについて評価を実施した。

「順調」 22プラン 91.6%

「要注視」 1プラン 4.2%

「要改善」 1プラン 4.2%・・・会議当日は実績値集計中のため評価留保  
後日、実績値判明により評価を決定

・委員からの主な意見

【プラン5他】 鷺敷から川口ダムにかけ、一体的に考えて誘客に取り組めば、にぎわう人の流れを作り出せるのでは。

四国の右下観光局には、利用者に近く、誰でも活用できるような存在になってほしい。

【プラン10他】 コロナ禍を機に、一次産業の大切さが浮き彫りになっている。都会から移住就農する若者が定着できるよう、地元の意欲ある若者が続けられるよう、支援を。

【プラン14, 17】 数字ばかりを追い求めている感。木が傷んでいるという声を聞く。今後50年、100年先を見通し、少し気をつけるようにすれば、皆にやさしい、豊かな自然につながっていくのでは。

【プラン21】 個々の取り組みでは、成果が不十分な点もある。施策③は評価をA→Bに変更。コロナ禍はリモートワーカーを呼び込むチャンスだが、受入れ側の態勢が整っていないように思う。

【プラン21, 23】 テレワークに関し、県・市町が連携した施策展開を希望。

【全体】 新型コロナの影響が計画全体に及ぶ。今後どう見直すのか、次年度どう評価するのか、考える必要がある。